



校長室だより

校長 山崎 聡子

本校が目指すこと

*令和6年度の本校のグランドデザインを裏面に掲載しました。御覧いただければと思います。

本市では、豊かな心を育成するということを目指しています。「豊かな心を育むひまわりプラン」のリーフレット（座間市教育委員会）の中に、次のことが記されています。

「豊かな心」とは、自分らしく自由に、他者と分かち合いながら、しなやかに、たくましくおだやかに、よりよく生きようとする心です。心は見えませんが、行動にあらわれます。私たち大人は、子供の日々のふるまいから、「豊かな心」の芽生えを見つけ、大切に育み、一人一人にその子らしい花を咲かせてあげたいと思います。「豊かな心を育むひまわりプラン」が最終的に願うのは、一人一人が伸びやかに、そして周りの人々とともに前向きに幸せに生きることです。

同じ方向を向いて、子供たちと関わっていくことで、大きく前に進んでいくことができます。目指す方向性として、座間市が目指す「ひまわりプランの願い」を本校のグランドデザインの上に位置付けました。一人一人を大切にし、誰一人おいていかないこと、そして、よりよく生きていくために、周りの人たちとのつながりを大切にし、他者と協働しながら進んでいくこと、そういったものの見方や考え方を子供たちに力としてつけていくことを目指していきたいと思ひます。

そこで、今年度の本校の重点目標を「温かな関わり合いを通して、みんなで成長できる児童の育成」としました。お互いの頑張りや

小さなよりよい変化を認め合うこと、誰もが弱さを抱え、得手不得手があるからこそ、お互いに支え合うことを大切にする温かな関係性を築くこと、みんながいることで自分が成長できること、自分の力がみんなの成長につながっていくこと等、互惠関係の中で、みんなで成長できる子供たちを家庭や地域の皆様と共に育んでいきたいと思ひます。

重点目標実現に向け、「学びをつくる」（知）「心を育む」（徳）「健康・いのちを守る」（体）の3つ柱の中の取組について、教職員と話し合い、明確に位置付けました。

4月の職員会議で、本校のグランドデザインを全員で共有しました。今年度も、全ての児童が、居心地の良さを感じ、安心して楽しく学べる学校を創るために尽力してまいります。ご理解とご協力をお願いいたします。

子供たちのすてきな姿

新年度がスタートし、新1年生を迎えて、1週間が過ぎました。子供たちのすてきな姿があちこちで見られます。

登校班で学校に登校してきた1年生のランドセルにそっと手を添えて気遣う高学年の子供たち。後ろを何度も振り返り、歩く速さを調整している班長、1年生の教室に行き、優しく声をかけている6年生。挨拶の約束を守り、私の目を見て元気よく「おはようございます」と挨拶をする1年生。学年集会で、学校生活をよりよくするための心構えについての話をしっかり受け止め行動する子供たち。

小さな成長、豊かな心の芽生えをたくさん見つけ、さらに豊かさが広がっていくよう、子供たちを支えていきたいと思ひます。